

ヤマノイモ・長芋のカルテック栽培

(10アール当り)

項目	時期・方法	資材の使い方
ムカゴ (芽子) 繁殖の 場合	床作り 1アール当り	堆厩肥 200kg 硫安 10kg 畑のカルシウム 5kg ラクトバチルス 100g ※翌年タネイモとして使う場合も、2年養成の場合も、同じです。 ※濃縮酵素液、カルテックCa液で調整する。
本圃の 地力 作り	なるべく早く (植付けまでに20日 以上おくこと)	ラクトバチルス 600g… 保水性と通気性がよく、連作の効く地力を作ります 堆厩肥 2トン 硫安 60kg (もし通常の複合肥料なら、チッソ成分4kg程度) 畑のカルシウム60kg ※特に堆肥不足の場合のみ、硫酸カリ 20kg追加。 ※ラクト・バチルスにより植付け時の土壌EC:0.2以下となります。
整地時	整地前に全面散 布 (または地力作り時 に同時投入)	畑のカルシウム60kg ※上記の地力作り時に施してある場合は不要。 ※土壌pH:6.2を標準とし、高pHならカルテックCa粒状。
定植後	定植後の灌水に	濃縮酵素 500倍 灌水… 強い根が出て、健全な生長。 ※定植後しばらくの間(ツル3cmまで)の灌水に。
春期の 調整	ツルや葉を見て 調整する	濃縮酵素 500倍で葉面散布。 ※生長が弱いのはほとんど根の障害ですから、濃縮酵素を。 ※普通は、追肥は不要。砂地などで本当にチッソ不足の時だけ、硫安 10kgを施す。 カルテックCa液 500倍で葉面散布。 ※徒長し、葉が薄く広く、葉色が濃く、垂れている場合はCaを。
後期	7月下旬(開花始 め)～9月 イモの肥大期	畑のカルシウム20kg ※イモへのデンプン蓄積を促進。 ※または、カルテックCa液 500倍の葉面散布

ヤマノイモの露地・パイプ栽培で、パイプ中に埋めこむ用土は…

畑土・赤土を混合したもの 100kg
堆厩肥 20kg
ラクトバチルス 50グラム

混合後 1ヵ月以上おいて、安定してから使用してください。